

長畑ひろのり



News vol.157

6月定例議会における質問

・ 重度障がい者等が利用できる 日常生活用具給付について

【長畑質問】日常生活用具給付事業実施要項別表は平成18年10月1日から使われているとのことだが、基準額を見直して欲しいとの声は利用者からなかったのか。

【健康福祉部長答弁】聞いたことはある。

【長畑質問】例をあげると便器だが、基準額の9,850円以内でポータブルトイレを購入するのがベストか。

【健康福祉部長答弁】この基準額で購入できる便器は殆どなく、最近の主流となるホータブルトイレは、この基準額では自己負担が必要となることからベストであるとはいい難い。

【長畑質問】枚方市や交野市の基準額は。

【健康福祉部長答弁】(便器に)ホータブルトイレを追加し、2市ともに基準額25,000円を設定されている。

【長畑質問】本市でポータブルトイレを購入しようとするれば基準額が9,850円、交野市や枚方市は25,000円と言うことか。

【健康福祉部長答弁】現時点では、そのようになる。

【長畑要望】事業内容を質問するのに、便器を例に進めたが、他の種目も同じように実状とあっていない内容があると考えた方がよい。その上で、担当部長も便器の基準額がベストでないとの認識をされているのが明らかになったのは重要。

これから担当課で行うことは、四條畷市日常生活用具給付事業実施要綱別表全ての項目を見直し、改める必要があるものは早急に対応する。特に、便器のように基準額を上げなければならないものに関しては、補正予算で直ぐに対応して頂きたい。しかし、無理であるなら来年度以降、毎年必要な予算をつけて頂くことを要望する。

・ 給食費の公会計化について

【長畑質問】教育長が就任された時点で、既に給食費は公会計で運営されていたと仮定した場合、今回のような事件を未然に防ぐことは出来たと考えるか。

【教育長答弁】現在の一般会計のように、担当課における支払い依頼行為と実際に振り込みを行う課の分業がされるため、不適切な振り込み先への入金行為を抑止できたと考える。

【長畑要望】給食を作る現場から公会計移行業務を外し、安全で安心な給食を子ども達に提供することに専念させるべき。そして、現在行なっている公会計移行の準備段階から、早急に教育委員会内に公会計へ特化した課を作るなどの検討をして頂く事を要望する。

・ 交通専従員の拡充について

【長畑質問】小学校の交通専従員の現状は。

【教育部長答弁】6校区、合計22箇所に配置。経費は令和3年度で947万1,440円、1箇所あたり按分で約43万円の費用を要す。

【長畑質問】(交通専従員は)足りていると判断しているのか。

【教育部長答弁】十分とは言えないが、保護者や地域皆さま、学校の協力も頂きながら、限られた経費で最大限努力をしているとの認識。

【長畑質問】忍ヶ丘小学校区交通専従員増員の要望書内容は。

【教育部長答弁】岡山東及び中地区の子ども育成会、岡山自治会、忍ヶ丘小学校及び忍ヶ丘小学校のPTAからあった。内容は、忍ヶ丘駅前ロータリーから1つ東側の歩車分離式信号の交差点で、児童が右折車を待って横断する際、時間が不足して、且つ、朝の通勤通学による往来の多いこともあり、低学年が半数以上を構成する登校班の安全管理が難しいと、通学路安全誘導員の増員を要望された。



【長畑質問】交差点が危険な上に、それぞれの班が4つのルートで通っている。その理由もそれぞれあり、登校時が無理であれば下校時だけでも交通専従員をつけて頂きたいが。

【教育部長答弁】全体のバランスを見ながら配置を考える。

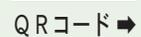
【長畑要望】交通専従員さんを下校時のみ配置したとして年間43万円の4分の3。その金額を使わないことで子ども達は危険と隣り合わせの中通学をしている。質問している交差点を含め市内全域の通学路について安全確認をして頂きたい。



毎月発行している“長畑ひろのりNews”を、約半年ごとに送っています。送付の必要な方は、送付先をFAXもしくはe-mailにてお知らせ下さい。

長畑ひろのり事務所 FAX 072-877-1280
e-mail sky@nagahata.jp

<http://nagahata.jp>



QRコード →

812市区における本市実力

東洋経済が発行している「都市データパック2021」より報告します。対象は、全国にある市と特別区（東京23区）ですが、千代田区、中央区、港区の3区は除外した812市区となっています。



・住みよさランキング

住みよさランキングは、さまざまな分野の公的統計を用いて算出した全国各都市の“都市力”を表したもので、住民の生活場面に応じた「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」の4つの視点から、20項目のデータを用いて算出しています。

下表は本市の 카테고리別全国順位で、3年間の比較です。この2年は「快適度」が良い順位をキープしています。

四條畷市の 카테고리別全国順位

安心度 (550位 → 613位 → 584位)
 利便度 (486位 → 466位 → 476位)
快適度 (457位 → 218位 → 283位)
 富裕度 (560位 → 504位 → 514位)

下表は全国における総合順位で、本市を含む北河内7市に、参考として全国上位3市と下位3市、そして、近畿エリア上位2市も載せています。

本市の3年間を比較すれば「668位 → 570位 → 585位」となります。昨年からは足踏み状態ですが、3年前と比べれば随分良くなっています。

総合順位	市名(都道府県)	カテゴリー順位			
		安心度	利便度	快適度	富裕度
1	野々市(石川)	181	10	216	153
2	武蔵野(東京)	777	4	154	5
3	文京区(東京)	583	6	16	57
19	大阪(大阪)	801	8	10	39
42	草津(滋賀)	724	39	53	59
425	守口(大阪)	781	107	83	381
557	枚方(大阪)	605	729	235	297
585	四條畷(大阪)	584	476	283	514
660	門真(大阪)	797	125	427	306
703	寝屋川(大阪)	734	350	359	534
717	交野(大阪)	585	797	361	418
758	大東(大阪)	792	546	291	441
810	志摩(三重)	500	426	799	766
811	行方(茨城)	530	756	793	662
812	美唄(北海道)	523	492	805	762

本市では特に「安心度」が悪く、北河内7市を見ても良いところは1市もありません（その中では本市が一番良い順位です）。この点は、北河内7市の抱える課題と考えます。「安心度」の算出指標は、下記6項目となります。

① 人口当たり病院・一般診療所病床数	2019年10月
② 老年人口当たり介護老人福祉・保健施設定員数	2019年10月
③ 20～39歳女性人口当たり0～4歳児数	2020年1月
④ 子ども医療費助成(対象年齢・所得制限の有無)	2021年4月
⑤ 人口当たり刑法犯認知件数	2019年
⑥ 人口当たり交通事故件数	2019年

本市で唯一順位の良かった「快適度」の算出指標は、下記5項目となります。

⑪ 転出入人口比率	2019年
⑫ 水道料金	2021年4月
⑬ 汚水処理人口普及率	2020年3月
⑭ 気候(月平均最高最低気温、日照時間、最深積雪)	1981～2010年
⑮ 都市計画区域人口当たり都市公園面積	2019年3月

住みよさランキングの中に「地域別の上位都市の特徴」の項目があり、参考に近畿エリアについての箇所を以下に引用します。

近畿エリアの1位は大阪市で、西日本を代表する商業集積地であり、小売店数、食料品小売店数、飲食店数など大型店面積を除く「利便度」の項目が高く、「快適度」では汚水処理人口普及率、転出入比率、水道料金が、「富裕度」では人口当たり法人市民税、住宅地地価などが全国上位にある。同エリア2位はベッドタウンの滋賀県草津市で、小売販売額や大型店面積など「利便度」の項目や、人口当たり法人市民税や個人所得、財政力指数など「富裕度」の項目が高水準。

選挙事務所

